

硫黄鳥島

○概況（平成 18 年 6 月）

24 日に海上保安庁が行った観測では、従来から見られていた弱い噴気が認められた程度で、火山活動に特段の変化はありませんでした。

24 日に海上保安庁が上空から行った観測によると、島の北側に位置する硫黄岳火口（図 1、図 2）付近でごく弱い噴気が確認されました。噴気の状態は、2006 年 4 月 30 日に長崎海洋気象台や海上保安庁が行った観測時と比べ、特段の変化はありませんでした。

気象庁気象研究所と東京大学地震研究所が共同で実施している地震観測でも、期間中の地震活動には特に異常はありませんでした。



図 1 硫黄鳥島 火口の位置図

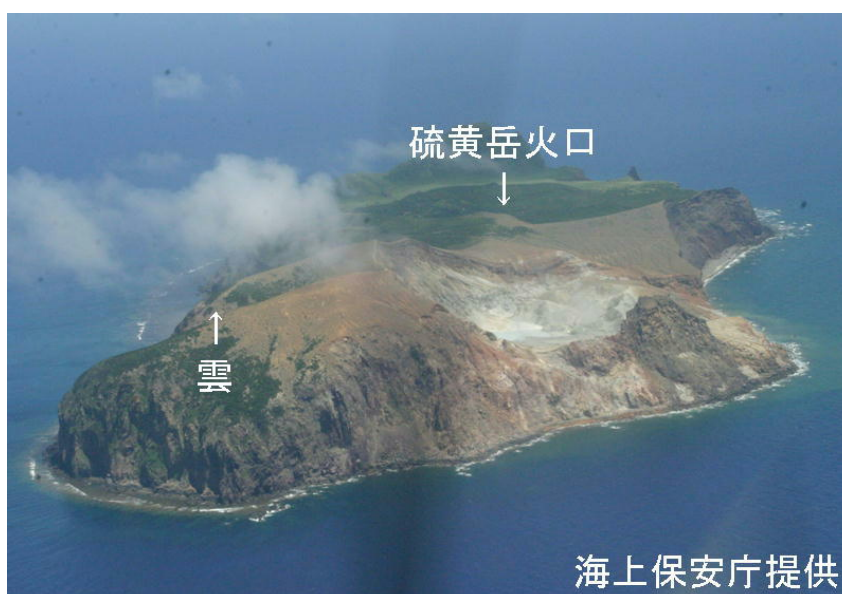


図 2 硫黄鳥島 北西側から見た硫黄岳火口（6 月 24 日）

※写真左側に見えるのは雲